



## 抑制作型の最盛期へ向けて東京でPR JA邑楽館林がきゅうりの試食宣伝会を開催！

### JA邑楽館林「きゅうり」試食宣伝会

- 期日：9月19日(水)
- 場所：東京青果(株)、東京荏原青果(株)
- 主催：JA邑楽館林、JA全農ぐんま
- 内容：邑楽館林産きゅうりの市場での試食宣伝、量販店でのフェア開催によるPR

### 試食は大盛況、開始前から求める人も！

4月を除く毎月19日は「いいきゅうりの日」とされています。大田市場では、JA 邑楽館林が抑制作型のきゅうりが出荷最盛期を迎える10月を前に、市場での試食宣伝会を開催しました。また、この日は都内の量販店(5店舗)でも「群馬県産きゅうり」のフェアが開催されました。

試食宣伝会では、塩昆布とごま油で和えたきゅうりや、特製の味噌ダレを添えたきゅうりが配布され、配布開始前からブースを訪れ試食を手取る人が出るほど大盛況でした。また、当日は館林の当地アイドルである「Menkoi ガールズ」も邑楽館林産きゅうりをPRするために大田市場に駆けつけ、市場関係者の注目を集めていました。

JA 邑楽館林の担当者からは「旧盆前に定植したものは、高温の影響もあり変形果などが散見された。しかし、旧盆後に定植したものは高温の影響も無く、品質も向上してきている。出荷量は平年並みを見込んでおり、10月がピークとなる予定。ピーク時は日量1万ケースの出荷を見込んでいる。」とのコメントがありました。



提供された料理

### 群馬県産きゅうりの出荷動向 (H29)

平成29年の都中央における群馬県産きゅうりの入荷量は都中央全体のきゅうりの入荷量の16.6%を占め、第2位の埼玉県と占有率はほぼ同等ですが、入荷量では僅差で第1位となっています。その後は、福島県、宮崎県と続いており、上位5県で都中央全体の入荷量68.3%を占めています。

群馬県産は、これから抑制作型のピークである10月を迎えますが、11月からは徐々に宮崎県産が増加していきます。ピークの期間は促成作型と比べ短くなりますが、きゅうりの主力産地として、しっかりとした品質のきゅうりを安定して供給することが求められています。



都内量販店でのフェアの様子

### 都中央でのきゅうり入荷量上位10産地(H29)

順位	産地名	占有率
1	群馬	16.6%
2	埼玉	16.6%
3	福島	13.8%
4	宮崎	11.0%
5	千葉	10.3%
6	茨城	8.3%
7	岩手	5.3%
8	高知	4.9%
9	秋田	3.3%
10	宮城	2.8%

### 都中央におけるきゅうりの入荷割合の推移(H29)

